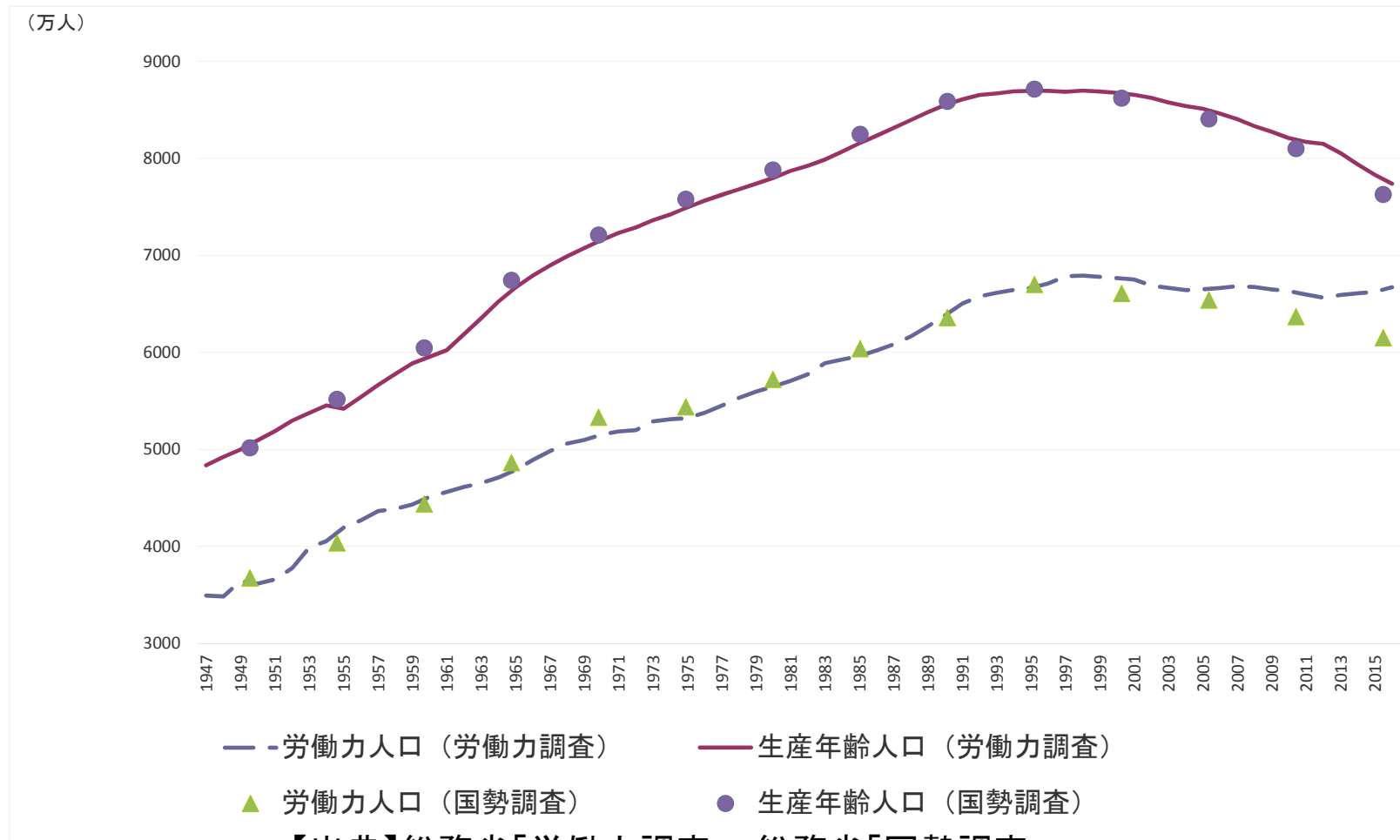


**外国人労働、女性活躍、高齢者就業は  
人手不足の解決になるか？**

**東京大学 川口大司**

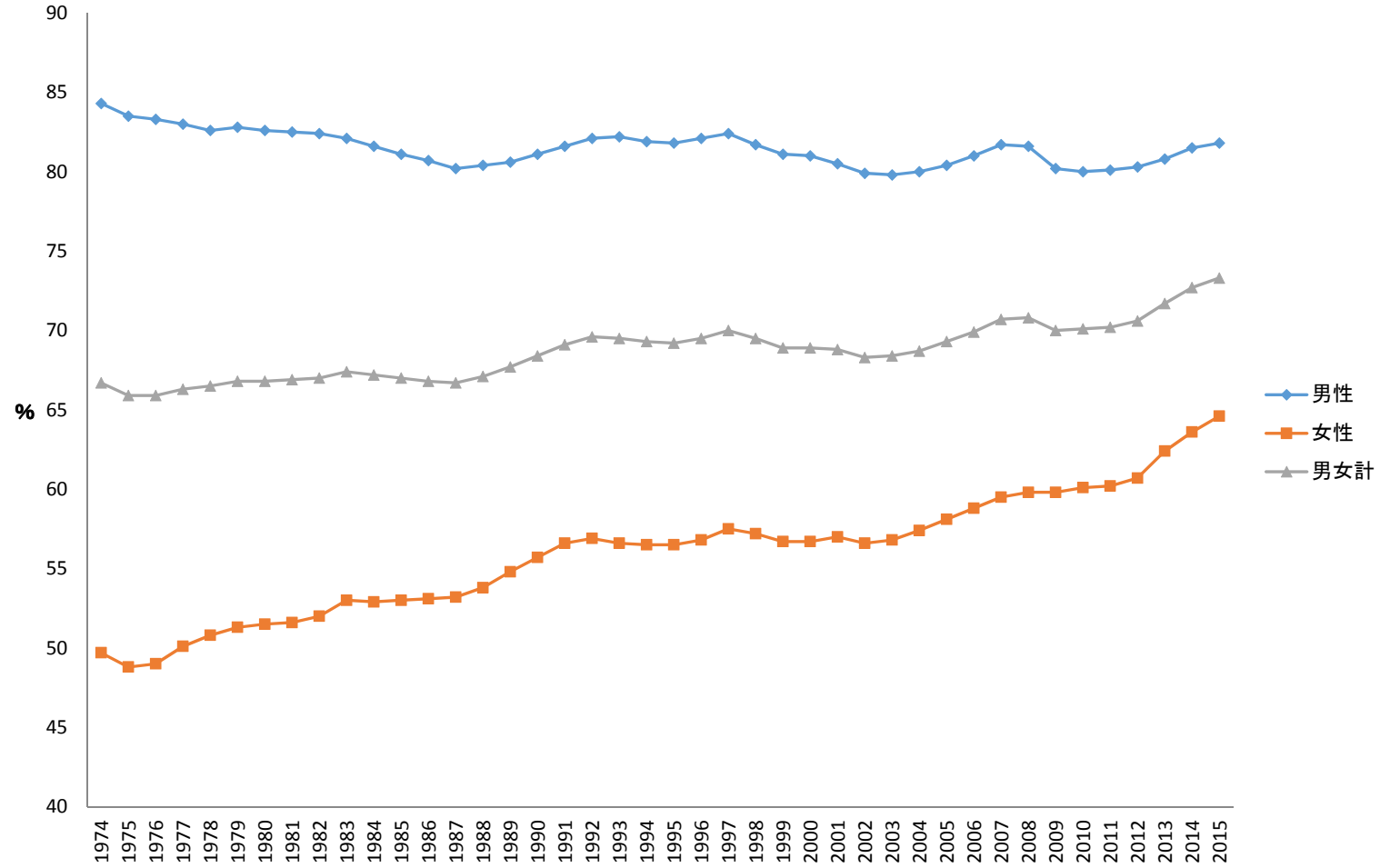
**2018年11月14日**

# 生産年齢（15-64歳）人口と労働力人口（男女計）



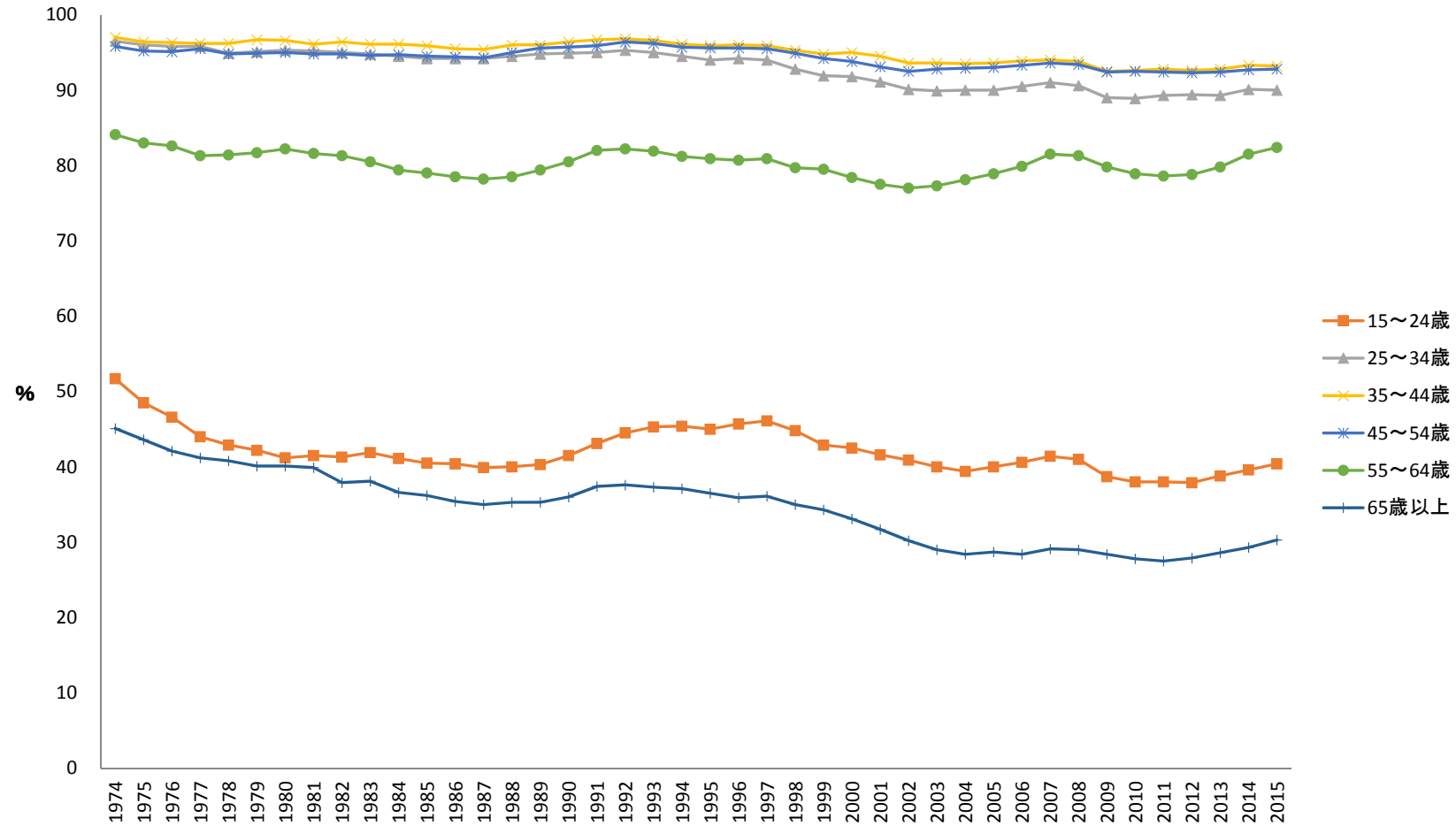
【出典】総務省「労働力調査」、総務省「国勢調査」

# 就業率の推移（15-64歳）



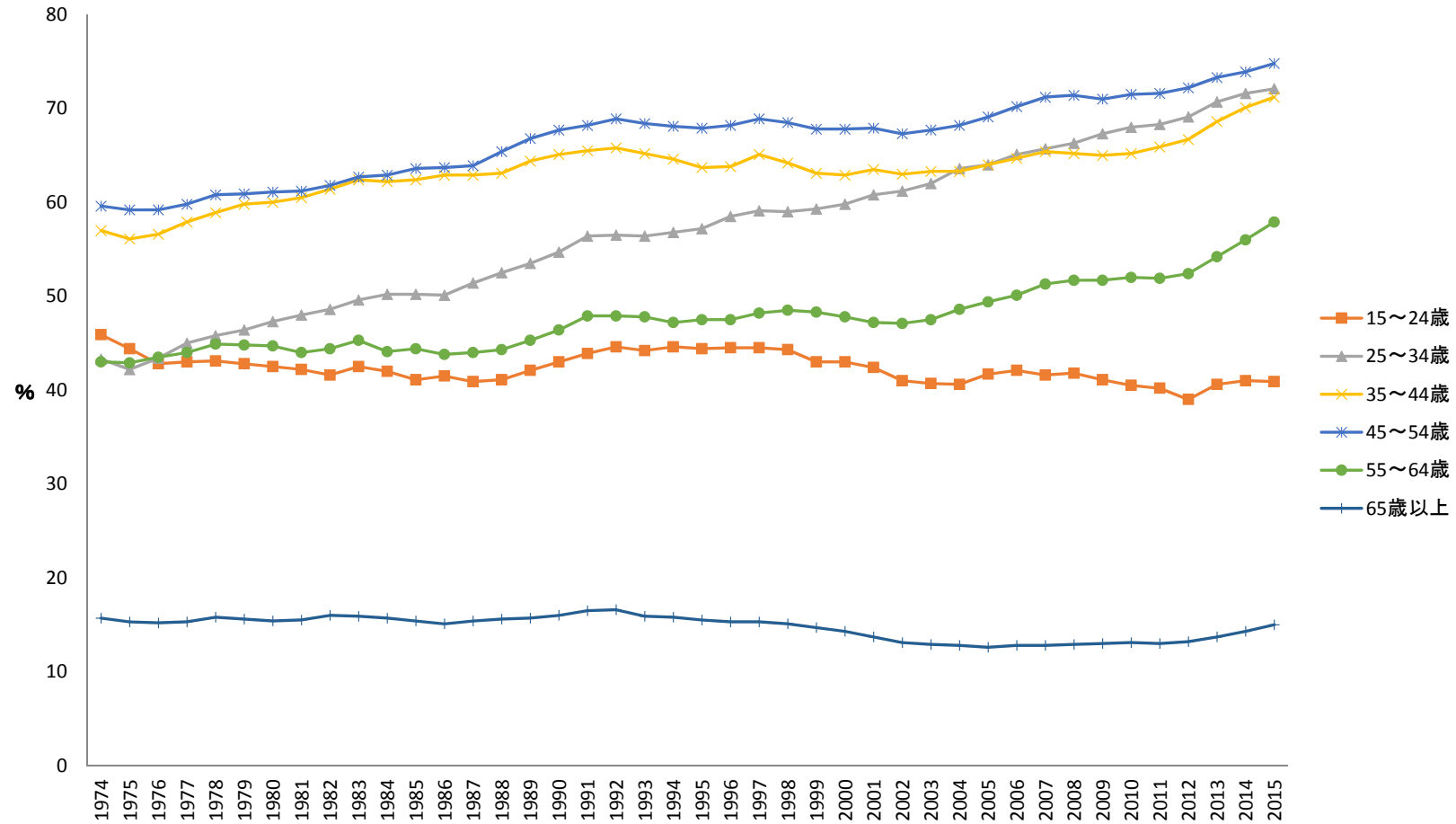
【出典】総務省「労働力調査」

# 年齢階級別就業率（男性）



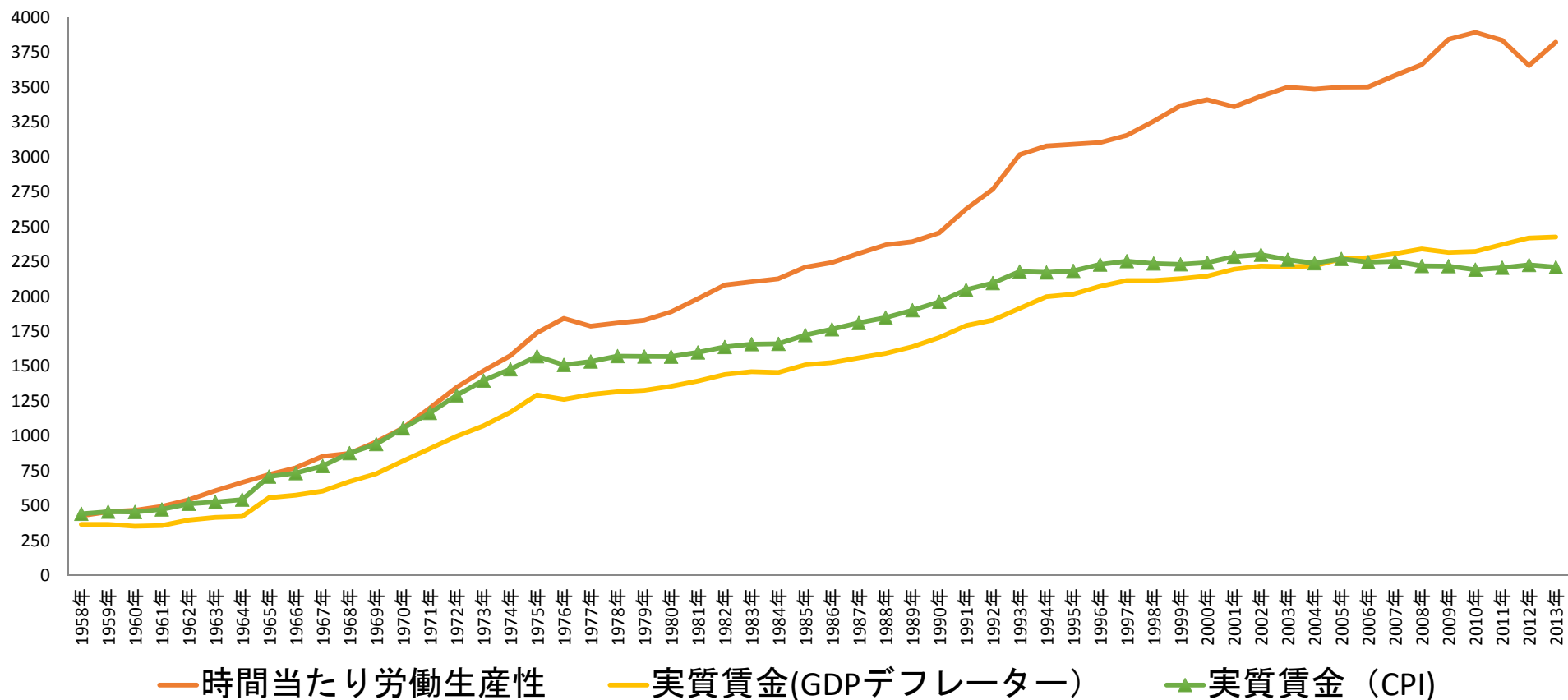
【出典】総務省「労働力調査」

# 年齡階級別就業率（女性）

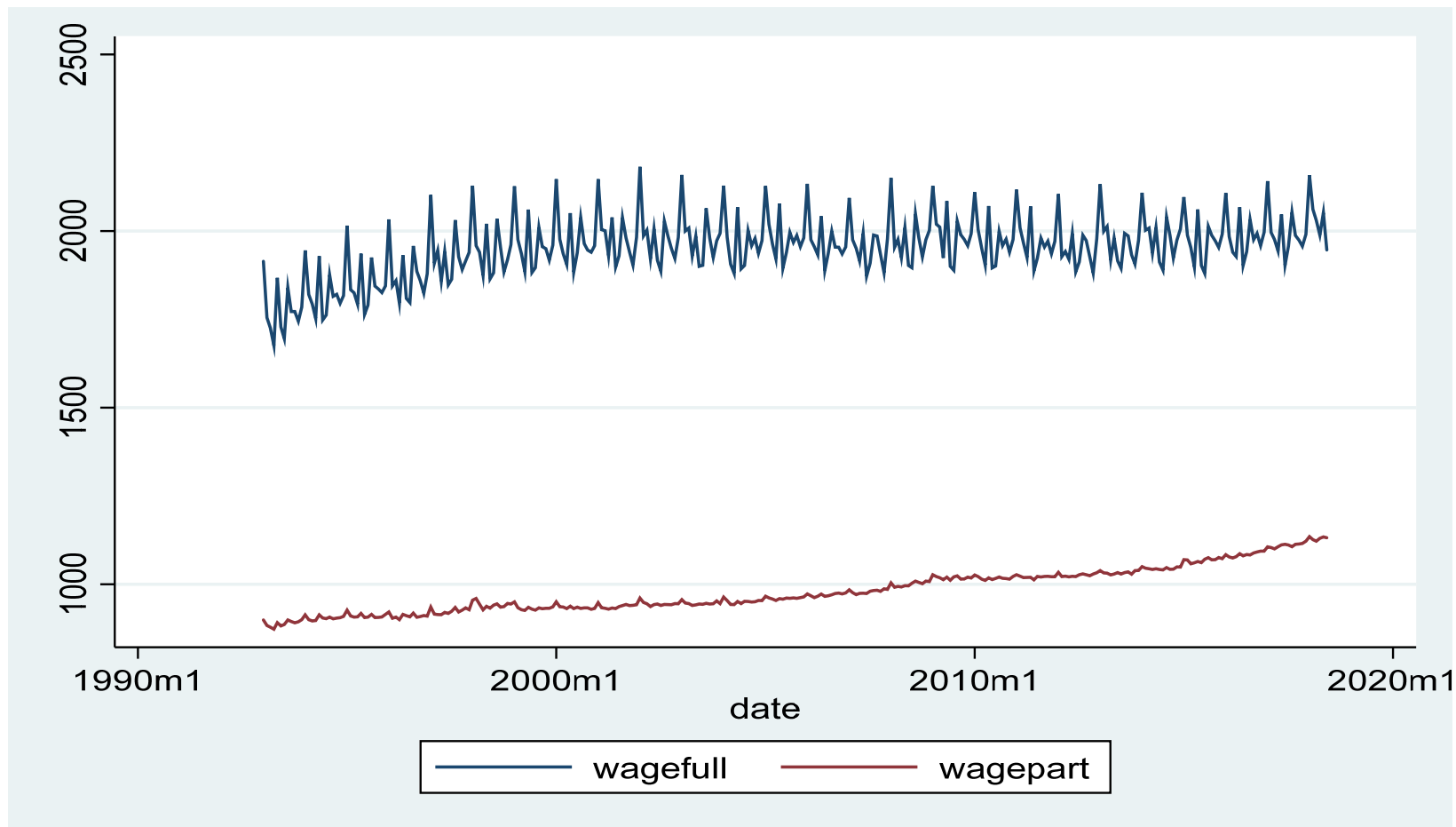


【出典】総務省「労働力調査」

# マクロ経済的背景—労働生産性と賃金(2005年価格)



# 所定内時間当たり賃金



厚生労働省 毎月勤労統計原系列

# 労働者の構成変化と賃金変化

景気拡大局面で労働者構成が変化していくと平均賃金がかわらないように見える（構成バイアス）。  
同じ労働者をおったパネルデータが必要。

リクルートワークス研究所が約35,000人に調査。

時間当たり賃金の各年の値の最大値・最小値各5%をカット。

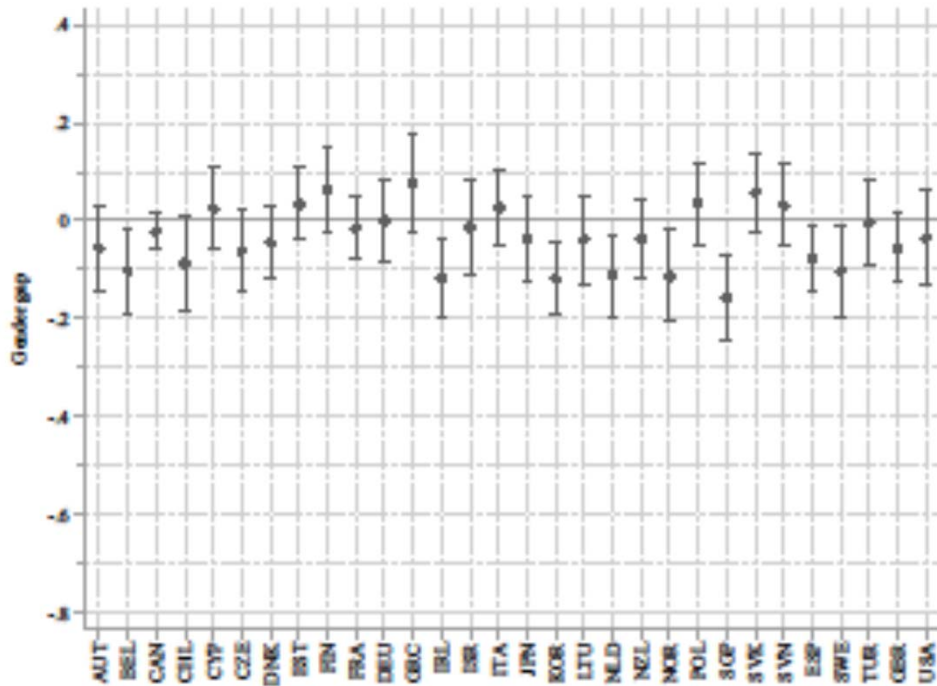
33,335名のサンプルを分析

2016年時間当たり賃金が入手可能	0.659
2017年時間当たり賃金が入手可能	0.666
両年の時間当たり賃金が入手可能	0.601
2016年平均時間当たり賃金	1718
2017年平均時間当たり賃金	1747
平均賃金の成長率	0.017
2016年から2017年にかけての時間当たり賃金上昇率の平均	0.060

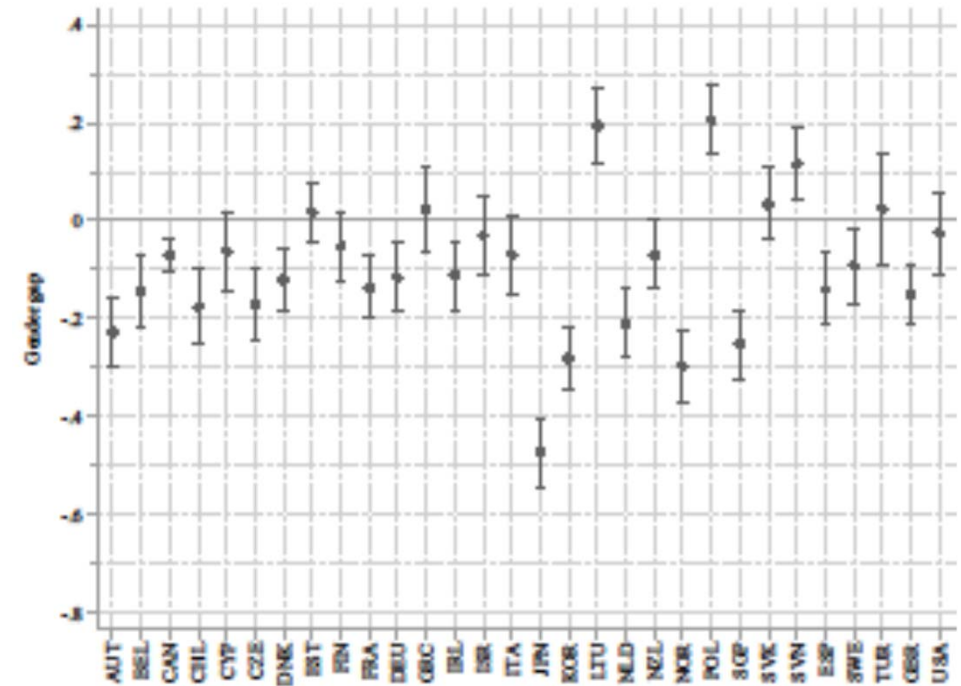


# 女性の能力の過少利用

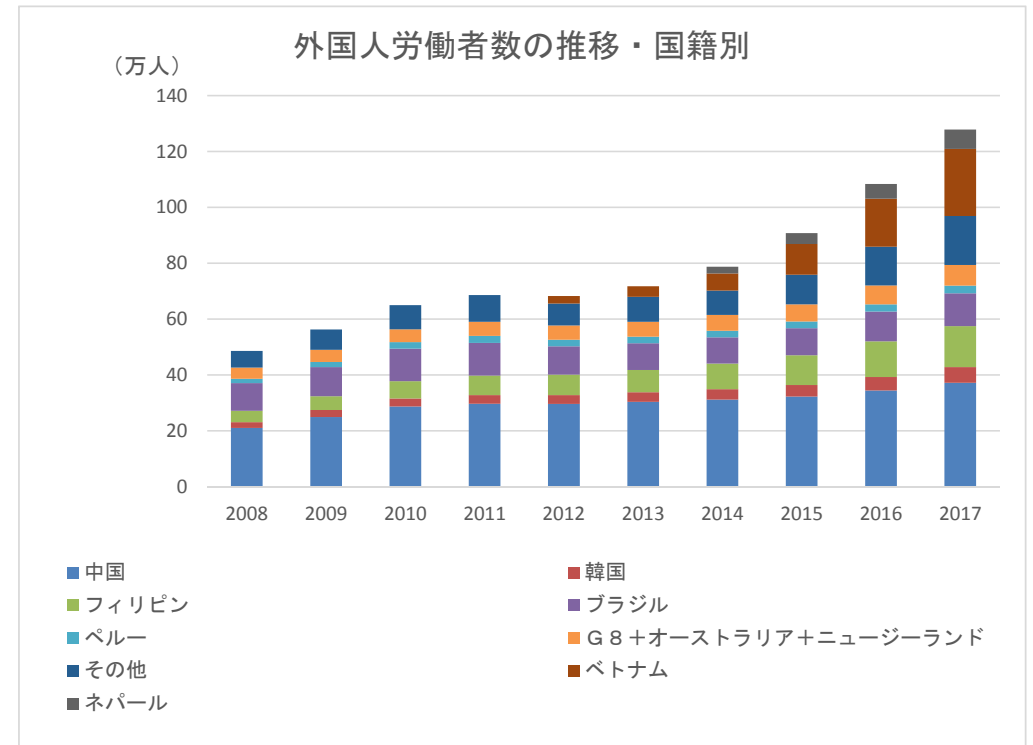
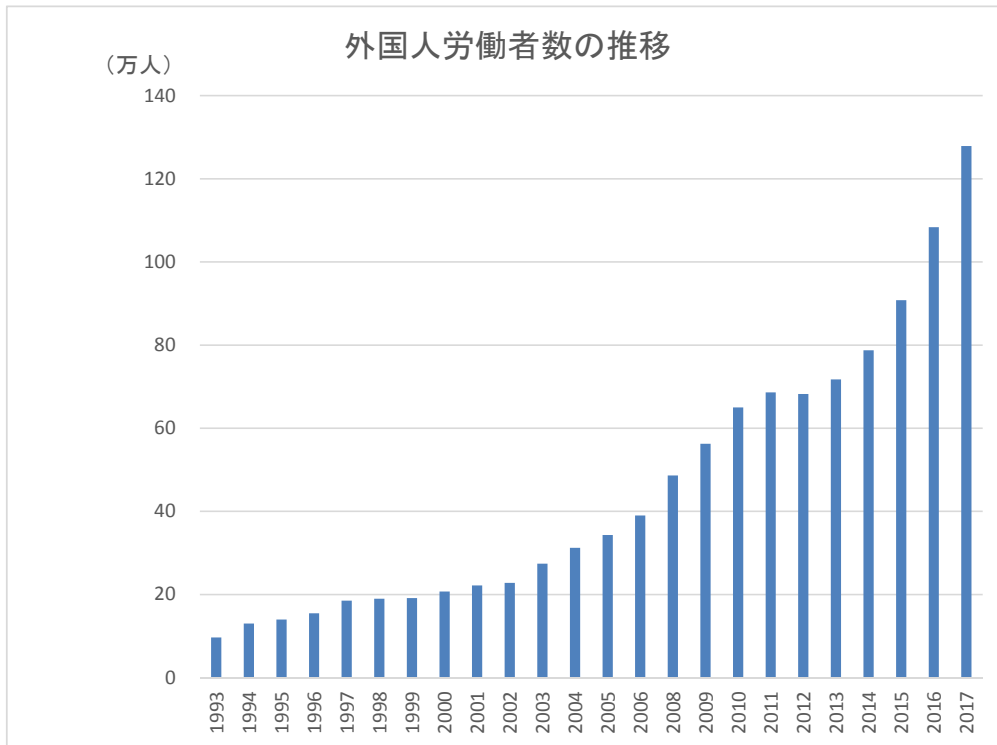
## 読解力の男女差



## 読解力利用の男女差

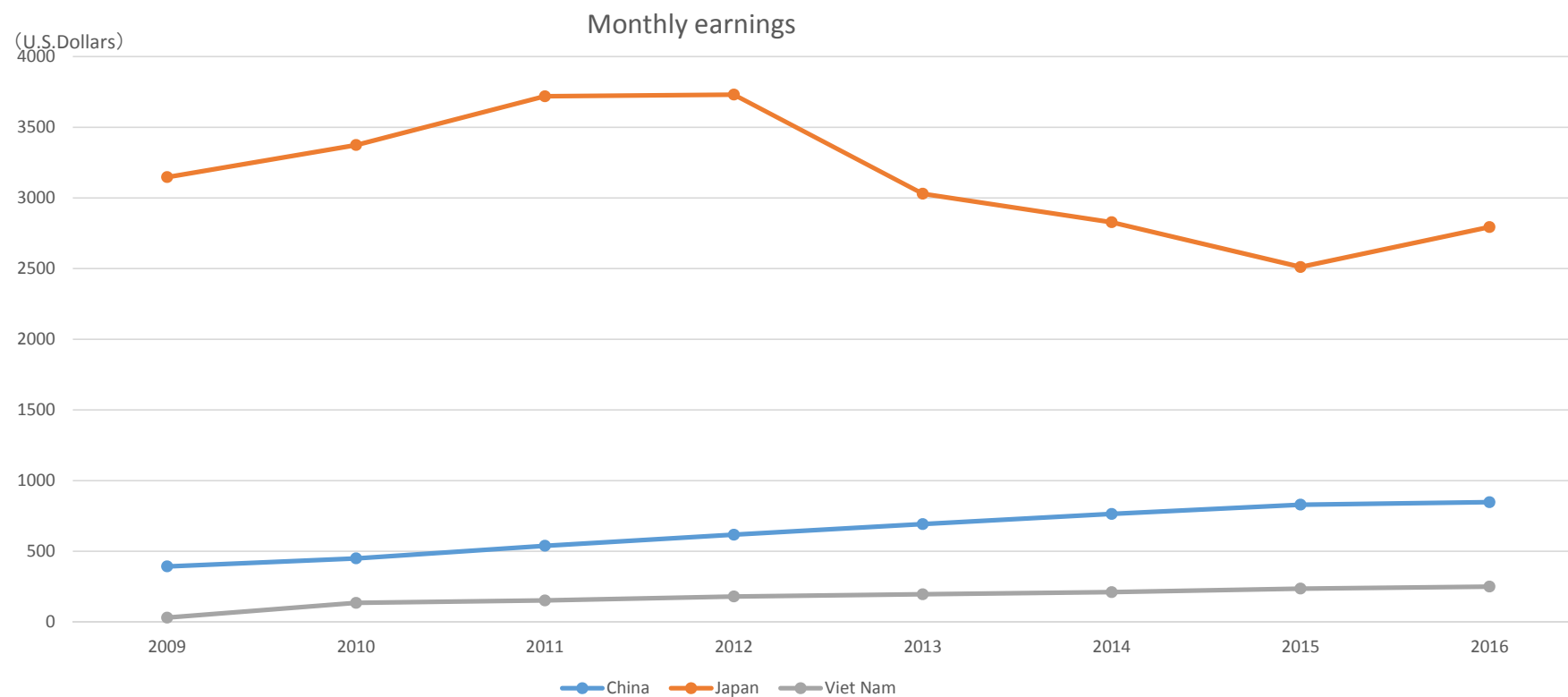


# 外国人労働者



出典：外国人雇用状況報告（厚生労働省）、外国人雇用状況の届出状況（厚生労働省）

# ソース国における賃金水準



出典：ILOSTAT

# 高齢者雇用

- 2004年高年齢者雇用安定法 65歳までの雇用確保義務
  1. 1. 定年廃止 2. 定年年齢引き上げ 3. 雇用延長制度
  2. 多くの企業は再雇用で対応
  3. 再雇用後の技能活用はうまくいっているのか？
- 66-70歳の就業率引き上げをどのように実現するか
  1. 賃金カーブフラット化で定年年齢を65歳まで引き上げるか？
  2. 解雇規制の議論？
  3. 同一労働同一賃金原則との関係？（長澤運輸事件）
  4. 年金支給開始年齢の引き上げ？
  5. 在職老齢年金制度の改正？
    1. 60-64歳 年金月額と給与月額が28万円以上は超えた分の50%年金カット
    2. 65歳以上 年金月額と給与月額が46万円以上は超えた分の50%年金カット

# 労働力スラックについての見通し

- 高齢者の就業率は大きく上がっているというわけではない
- 年金支給開始年齢の上昇、在職老齢年金制度の見直しによる供給増はある程度期待できる
- 年金制度改革は年金財政的な考慮が大きいのではないか？
- 女性の就業率は大きく上昇
- ただし女性の能力は十分に活用されているとは言えず、潜在的スラックがあるといえる
- 外国人労働について、相当のスラックがあると考えられる
- 技能実習生として入れるか単純労働者として入れるかで、外国人労働者が手にする賃金は異なり、流入する労働者の質にも影響を与えるだろう